技術士　第二次試験　模擬答案用紙

受験番号		技術部門　　部門
問題番号	H22　1-15	選択科目　　科目
答案使用枚数	1 枚目　　枚中	専門とする事項

○受験番号，答案使用枚数，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

1．不調不落とその影響

近年、公共工事においては、低入札と共に不調・不落の多発が問題となっている。不調・不落が発生し、工事の落札者が決定しないことで、次のような影響が発生する。①社会資本整備に関する行政サービスを、国民・住民に提供できなくなる。②再発注事務手続きのための負担や手間が増え、それに伴い工期へもしわ寄せが発生する。③予算執行の遅れにより、公共投資経済波及効果が低下する。

公共工事における不調・不落の発生は、社会資本整備への投資の遅れを生じ、国民の利便性向上が損なわれるだけでなく、安心安全な社会基盤構築への対応そのものが遅れることとなる。発注者は現場条件を正しく反映し、適正な工事価格の算出に努めなければならないが、標準的な積算基準での工事価格算出には限界があり、不調不落を避けられない場合がある。

2．不調不落の原因について

次のような工事において、不調・不落が発生しやすい。①予定価格が少額な工事（6,000万円未満）。②交通量が多い道路でのアスファルト舗装工事。③仮設ヤードの確保が難しい橋梁上部工工事。④施工箇所が点在する維持修繕工事。

発生原因としては次のものがある。①重交通の影響が大きい、作業スペース確保が難しいなど、現場条件が厳しい。②発注者の積算した予定価格と実勢価格が

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字

技術士　第二次試験　模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	H22　1-15
答案使用枚数	2 枚目　　枚中

技術部門　　部門
選択科目　　科目
専門とする事項

○受験番号，答案使用枚数，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

乖離している。③発注時期が集中し、工事担当技術者が不足する場合。

以下、それぞれのケースについて具体的に述べる。

1）工事の現場条件が厳しい

都市部住宅密集地における橋梁工事や舗装工事、工区が広範囲に点在する工事は、必要な安全費や仮設費などの間接工事費が、標準積算による額を大幅に上回ることがあり、不調不落の原因となる。

2）発注者積算予定価格との乖離

資材価格の変動、施工条件明示の不備、特殊な工種工法などが原因となり、予定価格と実勢価格に乖離が生じた場合に発生する。

3）工事担当技術者の不足

年間の工事発注量が平準化しておらず、一時期に集中することによる技術者の不足、一工事での技術者の長期拘束による技術者資源の枯渇により発生する。

3．不調不落抑制対策とその留意点

1）見積もりの提出を求める積算方式

見積もりの提出を求める積算方式とは、予定価格の算出に際し、入札参加者から指定する工種についての見積もりの提出を求め、その妥当性が確認された場合には予定価格に反映させる方式である。既に国土交通省では平成20・21年度に約300件が試行されている。試行にあたり、対象工事は再入札手続き案件、過去に不調不落が発生した工事とし、見積もりの提出を求め

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字

技術士　第二次試験　模擬答案用紙

受験番号	
問題番号	H22　1-15
答案使用枚数	3 枚目　　枚中

技術部門　　部門
選択科目　　科目
専門とする事項

○受験番号，答案使用枚数，選択科目及び専門とする事項の欄は必ず記入すること。

る工種は入札公告時に指定し、見積もり内容のヒアリング を実施している。

２）上記方式実施時の留意点

見積もりの提出を求める積算方式における留意点として、見積もり内容の妥当性の検証がある。次の事項についての検証を十分に行わなければならない。①過去の同様な現場での実績の確認。②当該現場で標準的な作業ができない事象事由の確認。③工事完了後のフォローアップ調査による、次年度以降工事積算基準への反映を行う。

３）間接工事費実績変更方式

大都市部や交通量の多い地区、住宅密集地域では、間接工事費が標準的な工事より多く必要になることがある。このような現場における対策として、間接工事費実績変更方式が導入されている。この方式は、全国一律の率による間接工事費と、当該現場における実費との差額を請負工事費に上乗せする方式である。

４）上記方式実施時の留意点

間接工事費実績変更方式は、工事発注後の上乗せ変更のため、施工途中での間接工事費の増額が見込まれる場合には、増分概算額について発注者の事前承認が必要である。また、増加見込み額と増加要因の事前精査を行う必要がある。

以上

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字